

「地域の生活(なりわい)を守るために」



四季を通して数多くの観光客を集める阿蘇。この地を訪れる人々は、その雄大な景観に感動を覚えます。

なかでも阿蘇を代表する美しい草原景観は、現在も続けられている野焼きや放牧等の営みの結果として守られてきたものです。

しかし、当たり前のように存在する阿蘇の景観も、これらの営みが無くなれば、いつかは失われてしまいます。

※「なりわい」という漢字は正式には「生業」ですが、この取り組みでは全体の意図から生活をなりわいと読ませています。



▲伝統ある大しめ縄づくり

世界文化遺産への登録を目指すためには、「阿蘇の価値」を明らかにして、それを守っていく必要があります。そして、その守るべき「阿蘇の価値」とは、目に見える景観だけではなく、それを支えてきた「地域の(人々の)生活(なり

世界文化遺産 登録に向けて

No. 2

阿蘇世界文化遺産推進室

「地域の生活(なりわい)を守るために」

前回までに、お知らせしましたとおり、阿蘇市は郡内6町村と熊本県との共同で、阿蘇地域を世界文化遺産へ登録することを目指しています。では、なぜ、阿蘇で、世界文化遺産への登録を目指す必要があるのでしょうか。その理由の一つに、「地域の生活(なりわい)を守る」ということがあると考えています。

●阿蘇の景観は、先人からの「生活(なりわい)」のたまもの

●阿蘇の価値とは、「人々の生活(なりわい)」そのもの

●世界文化遺産登録を目指して

世界文化遺産登録を目指すことによって、阿蘇に生きる人々や祖先の生きざまを、日本や世界中の人々が知ることになります。そして、阿蘇の価値を知った多くの人々と一体となって、単に観光振興にとどまらない、活力ある地域づくりの取組みを広げるために事業を進めていきたいと思えます。今後とも、市民の皆さんのご理解とご支援をお願いいたします。

「わい」そのものなのです。この「地域の生活(なりわい)」を守り伝えていくことこそが、世界文化遺産登録を目指す取組みの一つの意義でもあるのです。



▲千年の歴史ある野焼き。今月、外輪山、阿蘇山麓に火が入ります